

## 令和4年度 学校評価(教職員) 1学期

教職員アンケートは、「よくあてはまる(4点)」「ややあてはまる(3点)」「あまりあてはまらない(2点)」「まったくあてはまらない(1点)」で回答してもらい、その平均を求めた。

No.	評価内容	評価平均			
		R4	R3	R2	H31
<b>学校教育目標</b>					
1	自ら学び、考え、発表する子が育成されている。(知)	2.8	2.9	2.8	2.9
2	やさしく思いやりがあり、心豊かな子が育成されている。(徳)	3.0	3.1	2.9	3.1
3	健康で明るく、たくましい子が育成されている。(体)	3.0	3.2	3.1	3.3
<b>本年度の重点目標</b>					
1	めあてを持って、最後まで粘り強くやり抜く子	2.8	2.9	2.8	2.9
○確かな学力の向上					
1	共通実践(学習規律、教室掲示物の統一、黙想、聞く姿勢等)に取り組んでいる。	3.1	3.2	3.1	3.3
2	45分で「めあて」と連動した「まとめ」「ふり返し」を意識した授業をしている。	2.8	2.9	3.1	3.0
3	知念スタンダードの実践を通して、主体的・対話的で深い学びの実現に向けての授業改善に取り組んでいる。	2.5	2.7	2.9	3.0
4	調査分析結果や県Webテストの結果を授業改善等に生かしている。	2.4	2.4	2.5	2.9
5	基礎基本の完全定着を図るため、朝の学力アップタイム、知念こタイムを有効に活用している。	2.9	3.1	/	3.4
6	学習内容の定着が不十分な児童には、授業以外に個別指導を行っている。	2.7	3.3	3.0	3.2
7	授業の中で、図書や資料を積極的に活用している。	<b>3.2</b>	3.1	3.4	3.3
8	校内研修は、全職員が共通理解しており、教師一人一人が主体的に参加している。	3.1	3.4	3.4	3.4
9	合同教材研究日には、職員室で学年または隣学年同士で教材研究を行っている。	2.6	3.4	3.6	3.1
10	一斉音読や読書の時間を計画的に実施している。	2.8	3.3	3.1	3.5
11	児童の語彙力が高まるよう常に意識して指導している。	2.9	3.1	/	/
12	授業と連動した家庭学習になるよう工夫している。	3.4	3.5	3.5	3.7
○心身の健康づくりと体力の向上					
1	「特別の教科道徳」を見通し、児童の実態に応じた道徳教育の充実を図っている。	2.7	2.9	2.9	2.8
2	人権教育や教育相談を通していじめ防止に取り組んでいる。	3.2	3.3	3.2	3.5
3	体育の授業や体育的行事等で運動に親しむ習慣や体力向上に努めている。	2.9	3.1	3.1	3.5
4	給食や食育を通して、食の大切さについて指導している。	2.8	3.1	2.8	3.1
5	朝の自主活動や当番活動での「見届け指導」を行っている。	<b>3.3</b>	3.1	3.2	3.3
○キャリア教育の充実					
1	教育活動の中で「学ぶことの意義」や「働くことの意義」が持てるよう意識して指導をしている。(キャリアパスポートを含む)	2.8	3.1	3.1	3.2
2	保護者や外部人材を積極的に活用した体験学習や交流を行っている。	2.4	/	/	3.2
3	外国語や外国語活動を通して、英語に親しんだり、コミュニケーション能力を高める場面を工夫している。	2.8	2.9	3.0	3.5
4	コンピュータを活用した学習活動に努めている。(基礎的操作・プログラミング教育を含む)	<b>3.0</b>	2.8	2.6	2.9
○特別支援教育の充実					
1	特別支援学級と協力学級の連携による指導が行われている。	3.0	3.1	3.2	3.3

2	支援を要する児童についての共通理解と支援体制が図られている。	3.0	3.2	2.9	3.2
---	--------------------------------	-----	-----	-----	-----

○家庭・地域との連携の強化

1	家庭と連携して、基本的な生活習慣(早寝早起き・朝ご飯等)の育成を図っている。	2.8	2.9	2.9	2.9
2	家庭学習は、反省リレーのコメント等を通して、家庭との連携を図っている。	2.7	2.9	2.9	2.8
3	保幼小連携・小中連携が推進されている。	2.7	2.5	2.0	3.0

○学校運営・教育課程

1	学校・学年・学級の経営方針が一貫し、児童の実態に応じた指導をしている。	3.1	3.1	3.0	3.3
2	教育活動はPDCAサイクルに基づき定期的に見直され、改善されている。	3.0	3.0	3.0	3.3
3	教職員の服務規律は遵守されている。	2.9	3.8	3.4	3.8
4	教職員の「報・連・相」は適切に行われ、情報の共有が図られている。	2.9	3.4	3.3	3.2
5	生徒指導・教育相談、特別支援教育の組織、連携は機能している。(校内支援委員会)	3.2	3.5	3.4	3.9
6	学力向上連携委員会を通して、学推の取り組みと校内研修の連携が図られている。	3.1	3.7	3.4	3.8
7	教育環境(掲示物、学級園、備品、図書)等は適切に管理、使用されている。	3.3	3.1	3.2	3.3
8	校務分掌は適切に配置されており、意欲的に取り組んでいる。	3.2	3.3	3.2	3.5
9	教育課程以外の行事(新報児童オリンピック、海野ハーリー)は児童や職員にとって適切に実施されている。	/	/	/	2.3
10	施設の安全点検と児童への健康安全教育の指導は適切に行われている。	3.2	3.4	3.5	3.5
11	職員のいじめや災害などに対する危機管理体制は適切である。	3.1	3.6	3.4	3.3
12	会議、行事などの量・時期は適切である。	3.4	3.6	3.5	3.8
13	週案・諸帳簿の提出、保管は適切である。	3.4	3.6	3.4	3.1
14	学校は、積極的に情報を公開し、地域行事などへ参加している。	2.9	3.0	/	/
15	働きがいのある職場である。	3.1	3.4	3.3	3.6
16	仕事にやりがいを感じている。	3.1	3.1	/	/
17	学習指導や教材研究等、教職員本来の業務に専念できている。	2.8	3.0	/	/
18	子どもと向き合えている。	3.1	3.1	/	/

平均	3.0	3.2	3.1	3.3
----	-----	-----	-----	-----

